



Simplex Technology, Inc.

We listed shares on
Tokyo Stock Exchange first section.
September 1, 2005

シンプレクス・テクノロジーは世界に向けてイノベーションを発信する
金融機関の収益ビジネスに特化した金融ハイテクカンパニーです

株式会社シンプレクス・テクノロジー 東証1部：4340

社長プロフィールと沿革

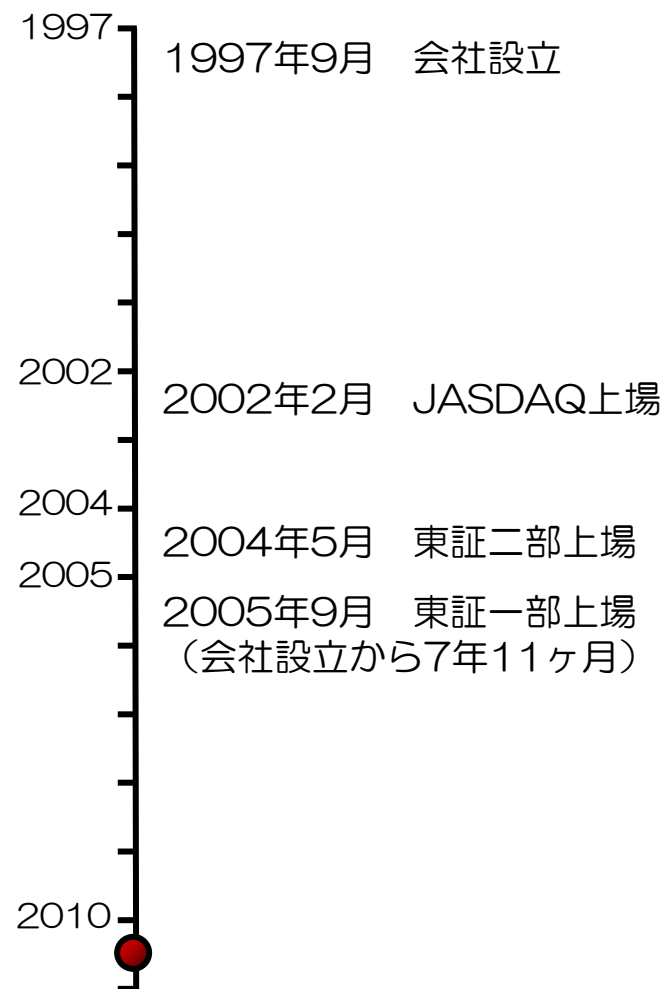


金子 英樹

(昭和38年9月1日生、47歳)

株式会社シンプレクス・テクノロジー
代表取締役社長

- アンダーセンコンサルティング
(現アクセンチュア)
金融機関向けシステムコンサルティング
- ソロモン・ブラザーズアジア証券
(現シティグループ証券)
トレーディング部門システム統括
- シンプレクス・テクノロジー設立 (設立当時33歳)



ソロモン・ブラザーズのシステムチームのメンバーが97年に創業
会社設立から7年11ヶ月で東証一部に上場を果す

シンプレクス・テクノロジーとは

金融機関の収益業務をIT技術の側面から強力サポート

最新の
金融工学

金融工学・金融業務知識・IT技術をすべて兼ね備える

金融
業務知識

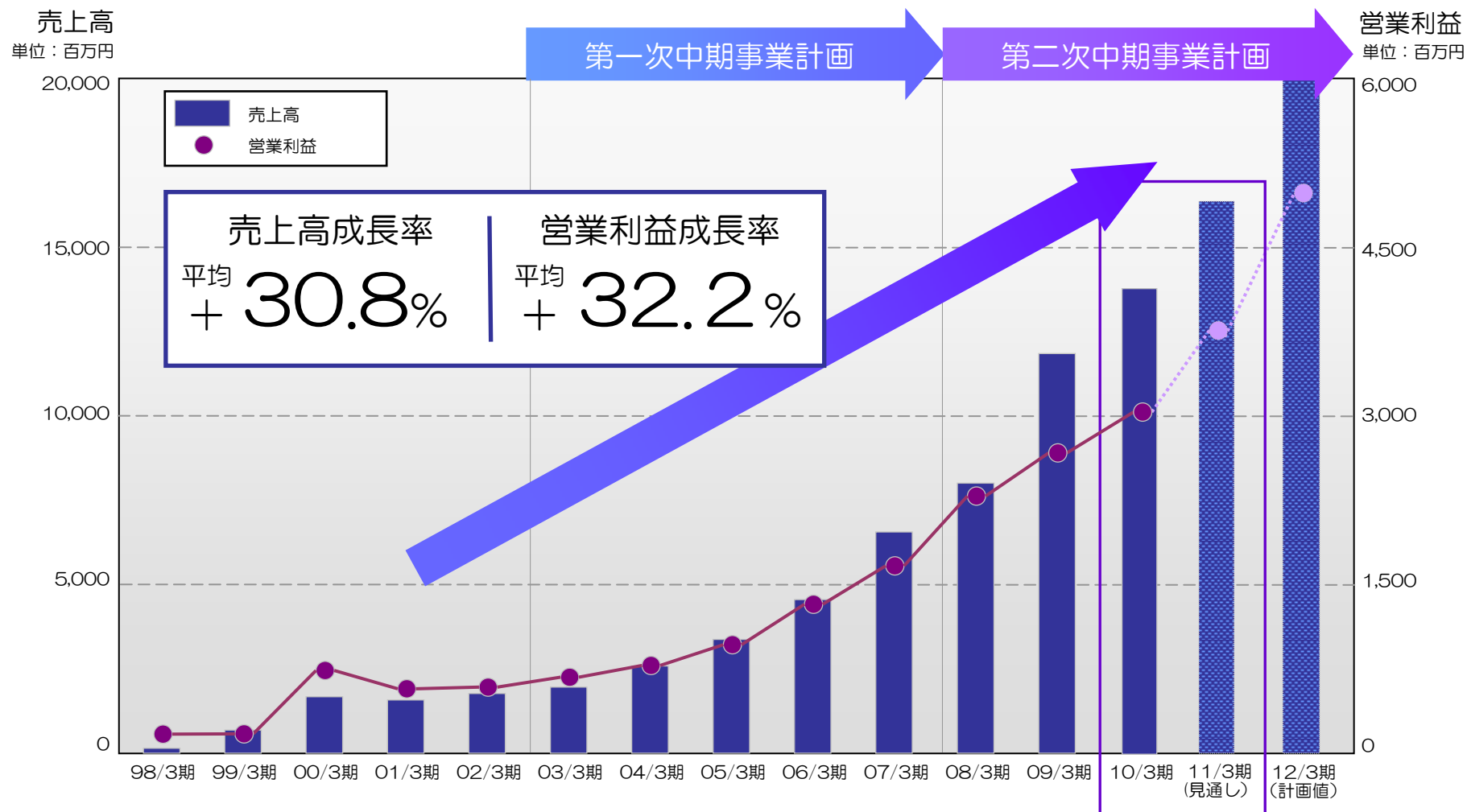
高度な
IT技術



- 顧客はメガバンクや総合証券などの大手金融機関が中心
- 参入障壁の高い金融システム開発に特化したITベンチャー企業

景況感に左右されず9期連続の増収・増益を更新

創業時からの売上高・営業利益の推移



主要顧客は取引所・銀行・証券などの大手金融機関
債券／FX取引システムを中心としてNo.1シェアを誇る

主力製品における当社シェア

債券取引システム

■ 大手証券：10社中**9**社採用

FX取引システム

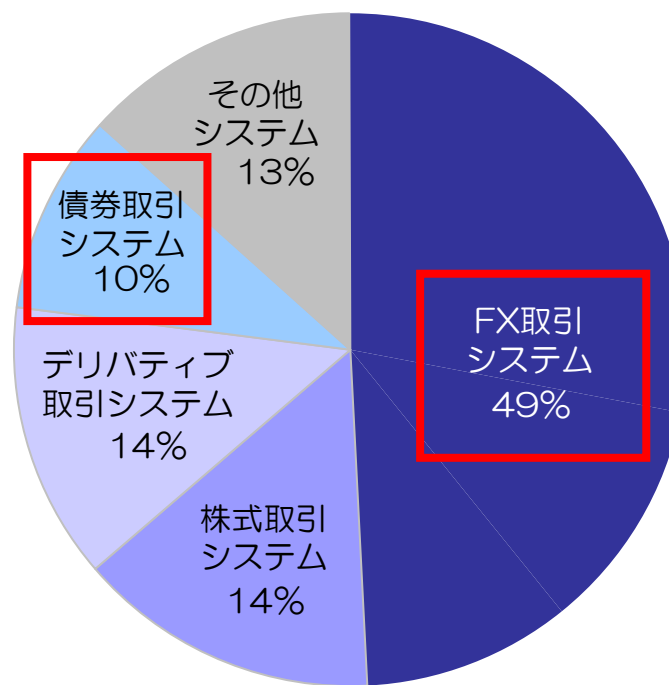
■ 大証FX取引所システムを構築 (2009年7月創設)

■ 大証FX参加業者：12社中**10**社採用

■ くりっく365参加業者：20社中**9**社採用

(2010年9月現在)

金融システム別 売上高構成比率
(2010/3期)



高収益性を支える2つの事業

高度な金融ノウハウ・技術力の提供で断トツの収益力

売上高営業利益率の比較（2010年3月期）

業界平均	NTTデータ	シンプレクス
5.9%	7.1%	21.7%

出典：「2009年版情報サービス産業基本統計調査」ならびに22年3月期決算短信等から当社作成

高収益性を支える2つの事業

受託開発事業：SI

想定売上総利益率
40%

サービス事業：UMS

想定売上総利益率
50~60%

SIとは：システム・インテグレーション（System Integration）事業の略称です。

UMSとは：ユニバーサル・マーケット・サービス(Universal Market Service) 事業の略称であり、当社の造語です。

受託開発事業：SIの特徴

特定顧客にオーダーメイドのシステムを提供
(例えるなら；自由設計の注文住宅の提供)

一貫開発体制

コンサルティングからシステム開発、運用・保守までを一貫して自社で担当

システム著作権の保持

システムの付加価値を顧客に理解してもらうことで著作権を獲得することに成功 ※

コストパフォーマンスの高い一貫開発体制

お客様のIT投資ニーズ

Simplex
TECHNOLOGY, INC.

コンサルティング

システム開発

システム運用・保守

システム高度化に向けた提案

お客様の収益力最大化をフルサポート

+

システム著作権の獲得

※著作権を当社が保持することで再利用が可能となるシステム部品群のことを「シンプレクス・ライブラリ」と呼んでいます

サービス事業：UMSの特徴

複数顧客に自社企画/開発システムをサービス提供
(例えるなら；高層タワーマンションの賃貸住宅の提供)

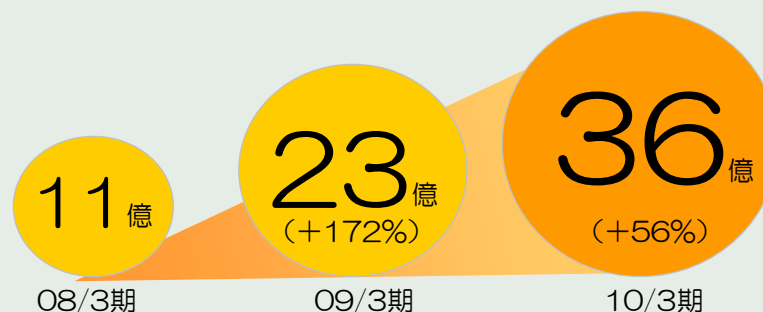
システムをサービス提供

自社システムを継続的にサービスとして貸し出すため収益基盤の安定化を実現

成功報酬型ビジネス

提供サービスの付加価値に応じた成功報酬課金を採用することで高い利益率を実現

■ サービス事業の売上高推移



■ サービス事業の採用社数推移



サービス事業：UMS主力サービスのご紹介

インターネット取引サービス：SPRINT（スプリント） プロと同等の投資環境を個人投資家の皆さまにご提供

対応商品

- 株式（現物・信用）
- 先物・オプション
- 外国為替証拠金取引（FX）
- CFD



対応チャネル

- リッチクライアント版 ※
（パソコン／携帯電話／iPhone）
- ウェブブラウザ版



（写真は当社提供のiPhoneアプリ「SimplexFX」）

導入実績

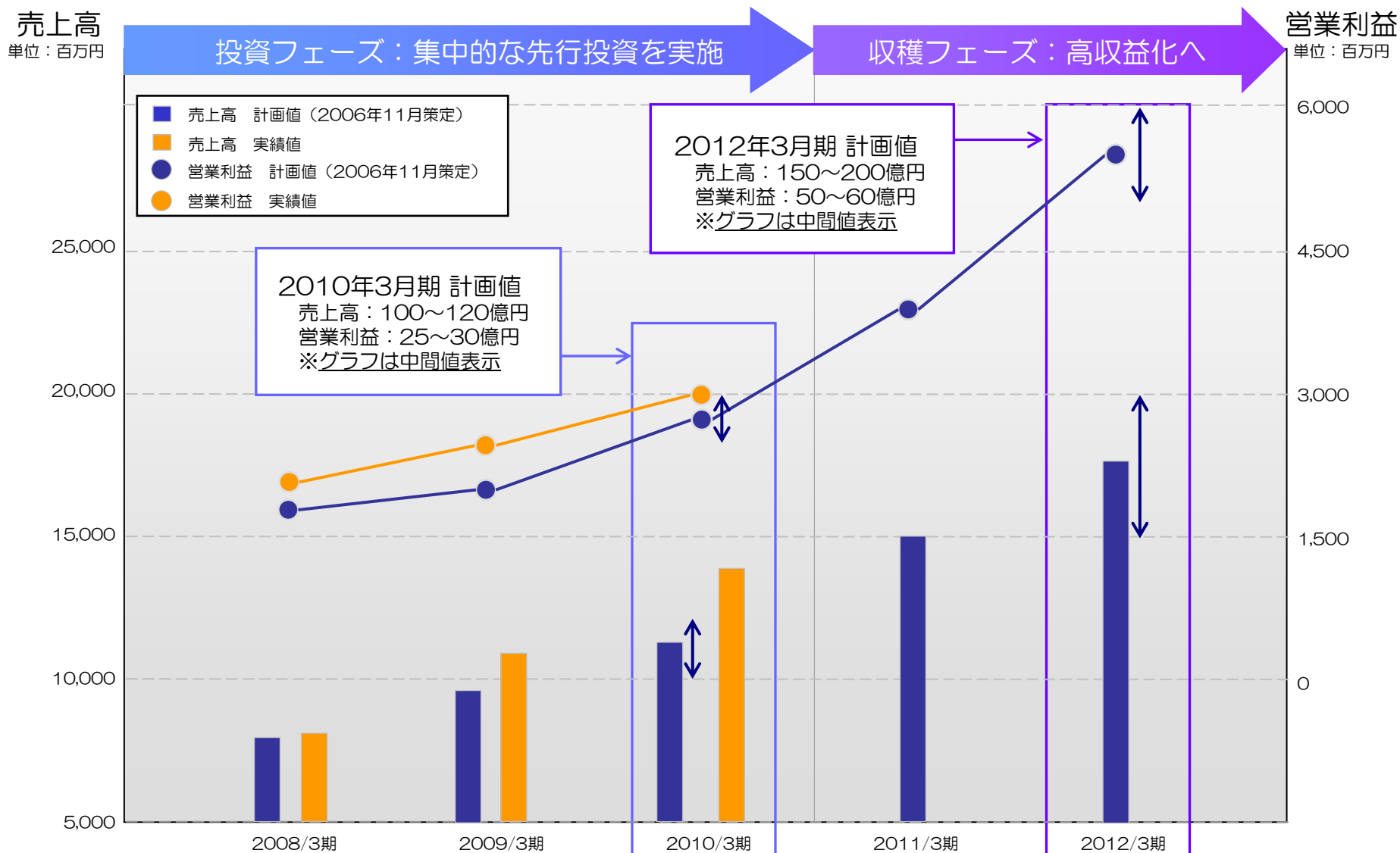
- 株式（現物・信用）／先物・オプション
野村證券、松井証券
マネックス証券
- 外国為替証拠金取引（FX）
インヴァスト証券、光世証券、コスモ証券
サイバーエージェントFX
ジャパンネット銀行、スター為替証券
住信SBIネット銀行、ソニー銀行
大和証券、野村證券、ひまわり証券
マネックスFX、マネックス証券
マネーパートナーズ、むさし証券
豊証券、豊商事、ユニマット証券
- CFD
大和証券

（2010年10月現在 敬称略 会社名50音順）

※リッチクライアントとは、専用のソフトウェアをダウンロードすることで高い操作性・表現力・機能性を実現するアプリケーションの総称です

さらなる成長を目指す 第二次中期事業計画

第二次中期事業計画 進捗状況



※UMS事業向け先行投資として、5年間で50億円程度の投資を実施予定です。投資コストは各会計年度で費用化することを前提としています。

今後の重点施策

1. 大規模案件の獲得により再びSI事業を成長基調へ

- 既存システム更新時期の到来や金融再編が契機に
- 大証FXなどの大型プロジェクトの成功で信用力が向上中

2. 成功報酬ストック型収益の着実な積み上げ

- 豊富な実績とシステム安定性が評価され
インターネット取引サービス「SPRINT」の引き合いが増える

株主還元・配当政策

1. 株主還元方針

- 完全業績連動型の配当を実施
- 2012年3月期までの配当性向を10~15%と定める

2. 配当金の推移

2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期 (予想)
120円	160円	210円	400円	480円

シンプレクスが目指すもの

企業理念

イノベーションを世界へ

Hello world, Hello innovation.

5つのDNA

1. ナンバーワン

2. クライアントファースト

3. コミットメント

4. プロフェッショナリズム

5. グローバル



上場企業初の「IR宣言」

2009年11月2日発表

1. IR活動を経営の最重要項目のひとつとして位置づけます。
2. 東証一部上場のパブリック企業として説明責任を果たし、常に明瞭な企業メッセージを発信いたします。
3. 業績動向や事業環境に関わらず、一貫して公正で信頼性の高い情報を開示いたします。
4. 企業認知度の向上を目指すとともに、すべての利害関係者に対して公平かつタイムリーな情報開示に努めます。
5. 株主・投資家とのコミットメントを遵守し、ゆるぎない信頼の構築に努めます。

ホールディングカンパニー体制への移行

1. 移行後のグループ体制（2010年10月1日～）

(株) シンプレクス・ホールディングス
(純粋持株会社)

(株) シンプレクス・コンサルティング
(新設継承会社)

2. 移行のメリット

- 事業提携やM&A等の戦略的推進
- グループの戦略マネジメントと経営資源の最適配分

ホームページリニューアルのご案内

The screenshot shows the homepage layout with the following elements:

- Navigation:** English, 文字サイズ, and search icons at the top right. Main menu items: 企業情報, ソリューション, IR情報, 採用情報, ニュース.
- Main Banner:**
 - Text: **No.1 Player あくなき挑戦**
 - Subtext: イノベーションを世界へ発信する シンプレクス5つのDNA
 - Graphic: Five overlapping cards with text: No.1 Player, Client, Investment, Personal, Alternative.
 - Small text: SDNAとは
- Secondary Banner:**
 - Text: **Hello world, Hello innovation.**
 - Text: シンプレクス・テクノロジーは、世界に向けてイノベーションを発信する金融機関の収益ビジネスに特化した金融ハイテク・ソリューションカンパニーです
- News Section:**
 - Header: 最新ニュース RSSについて
 - 2010年6月2日 IR情報 個人投資家向けIR会社説明会開催のお知らせ
 - 2010年6月2日 IR情報 2010年3月期業績レポート「ブリッジレポート」掲載のお知らせ
 - 2010年5月19日 IR情報 会社分割による持株会社体制への移行について
 - 2010年5月19日 IR情報 会社分割による持株会社体制への移行に伴う株券変更に関するお知らせ
- Series Section:**
 - 金融ビジネスの最前線から コンサルタントが語る、業界のトレンド
 - 大証FX取引所システム開発ストーリー

URL : <http://www.simplex-tech.co.jp/>

当社のホームページでは株主・投資家のみなさまの利便性や情報提供の即時性を考慮し、最新のリリースや財務情報、決算公告、その他IR関連の資料掲載、IRブログを掲載しております。是非ご覧下さい。

本資料に掲載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しとなります。現在入手可能な情報から得られた当社の経営判断に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績は、当社の見通しと異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的としたものではなく、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。